



Silent language

中島 彰良

紙漉き、木版画、インク、メディウム、
パルプ

今の時代、SNS 等で何でも情報入手でき誰でも簡単に会話ができます。しかし、その一方で紙を使用することが減り、紙を使ったコミュニケーションがなくなりつつあります。

私は、現代社会に於いて不用となりつつある紙に注目し、原点に戻ることを考えました。

一度製品として製造され不用になった紙を原料から新たに加工して自然の色と合わせる。

単純な作業を繰り返すことで完成した作品が視覚言語として、成立し、コミュニケーションがとれるのか知りたいです。